

長者原遺跡(横浜市)

ここは荏田猿田公園



説明板が立っている



このエリアには古代の武蔵国都筑郡の役所である郡衙が存在していた/その範囲は東名高速道路を挟んで約200m四方の広範囲に及ぶ/現在国道246号線が通っている辺りに、8世紀後半頃に相模国から武蔵国に至る東海道があったと考えられている

長者原遺跡

この荏田猿田公園と周辺の台地上は、土地区画整理事業にともなう行なわれた昭和54～56年の発掘調査によって、かつて古代の武蔵国都筑郡の役所である郡衙が存在していたことが明らかとなりました。

遺跡は東名高速道路をはさんで約200m四方の広範囲におよび、数10棟の掘立柱建物跡のほかには有礎式建物跡、溝、竪穴住居跡などが発見されました。西側の台地上では農民から徴収した稲穀などを収納した「正倉」、東側台地の中央は、正倉を管理し郡の政務をとった「郡庁」、その北東から南にかけての周辺は「正倉」や郡の役人(郡司)の宿舎である「館」がありました。また、遺跡内からは都筑郡を示す「都」の墨書土器のほかには様々な遺物が出土しました。

北側の谷すそを通る国道246号は、8世

紀後半の頃は相模から武蔵にいたる東海道であったと考えられており、都筑郡衙が当時の幹線道路ぞいに設けられていたことを示しています。

平成4年10月

横浜市教育委員会



遺跡中央部の航空写真

長者原遺跡は荏田古墳群に位置し、市ヶ尾古墳群、赤田古墳遺跡群、朝光寺原遺跡、稲荷前古墳群に隣接している/郡司は地方の豪族より任命されたので、これらの古墳群系の首長が選ばれたかも知れない/陸上交通、河川交通とが交差するこの要衝の地に役所の置かれ、東海道は古墳時代からこの地域の交通路として郡家と郡家を結ぶ道であった



遺跡中央部の航空写真

現在は普通の公園となっている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



参考ホームページ

<http://azamino-history.jp/history/history3-5.html>

https://blog.goo.ne.jp/2010trip_matsu/e/609397f824b3a34b5ecde1b0ec1baa13

https://hamabra2.at.webry.info/201407/article_15.html

<http://c-forest.cocolog-nifty.com/blog/2011/04/post-5f6f.html>

<http://aoba.ws/saruta.html>

市ヶ尾横穴墓群(横浜市) <http://ohoka-inst.com/ichigao9898.pdf>

赤田2号墳(横浜市) <http://ohoka-inst.com/adaka9898.pdf>

朝光寺原遺跡(横浜市) https://naraakogare.blogspot.com/2019/01/blog-post_20.html

稲荷前古墳群(横浜市) <http://ohoka-inst.com/inari9898.pdf>

